

平成 29 年度 糸魚川市駅北復興まちづくり計画評価委員会（議事録）

日 時	平成 30 年 3 月 27 日(火)13 時 15 分～14 時 50 分	場 所	糸魚川市役所 201、202 会議室
件 名	<p>○復興まちづくり計画評価委員会の設置について</p> <p>○委員長、副委員長の選出</p> <p>○議事</p> <p>（1）平成 29 年度 復興まちづくり計画の内部評価について</p> <p>ア 内部評価結果（全体概要）・・・資料 1</p> <p>イ 内部評価概要（重点プロジェクト）・・・資料 2</p> <p>（ア）大火に負けない消防力の強化プロジェクト</p> <p>（イ）大火を防ぐまちづくりプロジェクト</p> <p>（ウ）糸魚川らしいまちなみ再生プロジェクト</p> <p>（エ）にぎわいのあるまちづくりプロジェクト</p> <p>（オ）暮らしを支えるまちづくりプロジェクト</p> <p>（カ）大火の記憶を次世代につなぐプロジェクト</p> <p>（2）復興まちづくり計画変更案について・・・資料 3</p> <p>（3）その他</p> <p>○その他</p>		
議事総括	<p>（1）平成 29 年度 復興まちづくり計画の内部評価については妥当である</p> <p>（2）復興まちづくり計画変更案については妥当である</p>		
出席者	出席委員 江口知章委員 岡崎篤行委員 関澤愛委員 中出文平委員		
傍聴者	0 人（報道関係 6 社）		

会 議 要 旨	
1 開会	<p>司会：事務局長</p> <p>糸魚川市産業部復興推進課 齊藤課長</p> <p>（委員の紹介）</p>
2 市長挨拶	<p>・本日は、委員の皆さま大変お忙しいなか、平成 29 年度復興まちづくり計画評価委員会にご参集賜り誠にありがとうございます。また、本委員会の設置にあたり、委員の任をこころよくお引き受けいただきましたことについて、重ねてお礼申し上げます。</p> <p>早いもので一昨年 12 月 22 日に発生した駅北大火から 1 年 3 ヶ月が経過しました。現在被災地においては、そば処泉屋さんが営業を再開し、加賀の井酒造さんの仕込みも始まるほか、住宅の再建も着々と進んでおります。</p> <p>被災地の再建が進むなか、この後、ご議論いただく復興まちづくり計画の各施策については、毎年度、評価と検証を行うなかで、見いだされた課題などを改善していく必要があります。本評価委員会の審議をふまえた進捗管理と改善を継続的に実施していきたいと考えております。</p> <p>今後も被災された皆さまに寄り添いながら、市民や商店街、関係団体が一丸となって、計画を着実に進めてまいりたいと考えておりますので、委員皆様の格別のお力添えを賜りますことをお願い申し上げます。あいさつとさせていただきます。よろしくお願いたします。</p> <p>（市長退席）</p>

<p>3 復興まちづくり計画評価委員の設置について</p>	
<p>司会</p>	<p>・次第に沿って進めさせていただきます。次第3の「糸魚川市駅北復興まちづくり計画評価委員会の設置について」を事務局から説明させていただきます。</p>
<p>事務局</p>	<p>(配布資料確認後)</p> <p>・参考資料1の設置要綱をご覧ください。第1条では、本委員会を、幅広い観点で、復興まちづくりの施策を評価する組織として位置付けております。第5条では、この後、選出いただきますが、本委員会に委員長と副委員長を2人置くことといたします。第6条、委員会の会議でございますが、裏面の第5項にありますとおり、原則として、公開することといたします。資料や議事録などにつきましても同様でございます。第7条では、産業部復興推進課に本委員会の事務局を置くこととしております。評価委員会の設置について以上です。</p>
<p>司会</p>	<p>・委員会設置について、ご意見やご質問はございませんでしょうか。</p> <p>(「ありません」の声)</p>
<p>司会</p>	<p>・ありがとうございます。</p>
<p>4 委員長、副委員長の選出</p>	
<p>司会</p>	<p>・委員会設置要綱第5条に基づき、委員長と副委員長の選任に入りたいと思います。委員長と副委員長は、委員の互選により選出することとなっておりますので、お諮りしたいと思います。</p> <p>選出方法等につきましてご意見等ございましたらお願いいたします。</p>
<p>江口委員 司会</p>	<p>・事務局の提案はありますか。</p> <p>・今ほど、事務局案の提示についてお声があがりました。事務局の案をお示しさせていただいてよろしいでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p>
<p>司会</p>	<p>・異議なしとのことですので、事務局案を申し述べさせていただきます。委員長には、15年以上の長きにわたり当市の都市計画審議会委員をお務めいただいている長岡技術科学大学の中出副学長に、副委員長には、建築防火・都市防火を専門に研究されておられます東京理科大学の関澤愛教授に、就任いただきたいと考えておりますが、いかがでございましょうか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p>
<p>司会</p>	<p>・ありがとうございます。異議なしとのことですので、中出委員から委員長を、関澤委員から副委員長を務めていただきたいと存じます。</p> <p>それでは、要綱の規定によりまして、委員長が議長を務めることになっておりますので、中出委員長は、正面の席の方にご移動いただきますようお願いいたします。</p>

	(中出委員長移動)
(委員長挨拶) 中出委員長	・昨年「復興まちづくり計画」を策定以降、半年あまりの部分について評価いただきます。全体としては順調に動いていることと思いますが、この評価委員会は、内部の評価に併せ、外部からの委員の評価を行うものであり、委員の皆様から積極的なご意見をお願いします。
司会	・それでは、要綱の規定に従いまして、ここからの議事進行は委員長にお渡しいたします。
5 議事(1) 中出委員長	・議事の方に移らせていただきます。進行にあたり1点お願いします。議事については、各委員同士の議論で評価していくことを基本に進めていきます。実施の状況などで不明な点などがありましたら、事務局から説明していただきますので、よろしくをお願いします。 議事の(1)復興まちづくり計画の内部評価について、内部評価結果(全体概要)を事務局説明願います。
事務局	・資料1をご覧ください。計画全体としての評価概要を記載しております。 初年度である平成29年度は、計画策定後、概ね半年という期間での評価となっております。今年度は、道路や宅地などの都市基盤の整備について、被災者ほかのご協力を得て、短い期間で実施することができており、今年の夏頃までには、被災地内で戸建て再建を希望する方のうち約6割の方の住宅が完成する見込みであり、着実に復興が進んでいると評価しております。 裏面の2ページには、平成29年度に実施すべき施策である71施策の進捗状況を表にしております。計画遅れの2件は、「無電柱化の推進」と「消火設備を備えた防災公園の整備」でございます。 無電柱化については、今年度中に設計を終えることとして計画に記載しておりますが、実施路線の検討に時間を要したこと等により、当初の計画に比べて進捗が遅れたものでございます。なお、設計と工事の着手は、平成30年度に予定しております。もう1件の消火設備を備えた防災公園の整備につきましても、今年度中に設計を終えることとして計画に記載しておりますが、設計が平成30年度前半にずれ込むことから遅れと評価しているものでございます。説明は以上です。
中出委員長	・全体概要についていかがでしょうか。 (「ありません」の声)
中出委員長	・無いようでございますので、内部評価結果の全体概要について終了いたします。 続きまして、「イ」の内部評価概要に入ります。(ア)から(カ)までの重点プロジェクトについて、1つずつ議論していきます。 1つ目の(ア)大火に負けない消防力の強化プロジェクトについて事務局説明をお願いします。
事務局	・資料2、1ページ、2ページをご覧ください。(ア)大火に負けない消防力の強化プロジェクトについて説明します。 プロジェクトは「火事を出さない」防火意識の向上、「早く発見しすぐに消す」た

	<p>めの住宅用火災警報器の普及や自主防災組織の初期消火体制の強化、「火事を拡大させない」消防力の強化を目的としており、今年度は平成 30 年度以降に実施するハード整備の企画・立案と並行して、直ぐに実施可能な施策の実施により防災体制の強化と防火意識の向上が図られたものと評価します。</p> <p>〔実施概要 資料 2（1 ページ、2 ページ）に基づき説明〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ①住宅用火災警報器（連動型含む）の設置推進 ②初期消火体制の強化 ③常備消防及び消防団の初動体制の強化 ④関係機関、団体との応援協定の締結 ⑤強風時における飛び火対応の強化 ⑥大型防火水槽の設置 ⑦海水や用水などの自然水利の活用 <p>中出委員長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（ア）大火に負けない消防力の強化プロジェクトについて、ご意見やコメントなどがありましたらお願いいたします。 <p>関澤副委員長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 点目、②初期消火体制の強化について、市内 8 か所での訓練の際、小口径消防ホース（40mm）を用いた訓練について市民の反応はどうでしたか。 2 点目、③常備消防及び消防団の初動体制の強化について、常備消防の初動体制のあり方などについて結論がだせなかったということですが、どういった事ですか。 <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 点目、小口径消防ホース（40mm）については、皆さん軽くて扱いやすいという事で、今後とも技術を向上させて初期消火体制の強化に繋がりたいとの反応でした。 2 点目、増員によって初動体制の強化を図りたいと考えていましたが、すぐに職員を増員することは不可能で、強風時には非番職員の増員等で対応しています。 <p>関澤副委員長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度の本プロジェクトについては、具体的に進められていると評価できると思います。 <p>中出委員長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほか、ございませんでしょうか。 ありがとうございました。 次に、（イ）大火を防ぐまちづくりプロジェクトについて、事務局説明をお願いします。 <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料 2、3 ページ、4 ページをご覧ください。（イ）大火を防ぐまちづくりプロジェクトについて説明します。 プロジェクトは市道の拡幅や敷地再編、建築物の不燃化など、通常では数年間を要する事業ですが、被災者、市民の皆さんのご理解、ご協力をいただき、短期間で事業を進めているところです。 <p>〔実施概要 資料 2（3 ページ、4 ページ）に基づき説明〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ①本町通りにおける延焼遮断態の形成 ②木造の建築物が密集する地域における建築物の不燃化に対する支援 ③防災機能を高める市道の拡幅 ④消火設備を備えた防災公園の整備 ⑤延焼の拡大を防ぐ植栽・植樹の促進 ⑥被災地域における敷地再編による木造の建築物が密集する地域の解消
--	---

中出委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・(イ) 大火を防ぐまちづくりプロジェクトについて、ご意見やコメントなどがありましたらお願いいたします。
中出委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・区域内に防災公園が配置され延焼を防止するという取組みは良いと思います。防災公園の整備、土地区画整理事業の換地後のことを含め、今後、植栽・植樹を進めるということですが、土地区画整理事業では殺風景な街並みになってしまうことが多い。防災性能が高いことは前提ですが、街路樹、植栽を選定するときは、市内外から訪れる人にとって、心地よい潤いのある空間になるよう検討ください。 ④消火設備を備えた防災公園の整備について若干進捗の遅れがあるようですが、次年度に繰り越しになっていることを逆手に取って、全体の計画の中、防災性能やまち全体としての潤いや賑わい等と関連させ進めて下さい。
関澤副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・②木造の建築物が密集する地域における建築物の不燃化に対する支援について、準防火地域であり、もともと防火構造にしないといけない地域です。防火構造として市独自の防火仕様とはどういったものですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・外壁と軒裏の全てを防火構造にするという市独自の防火仕様を設け、それに対し建築費用の一部助成をしています。
関澤副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・一般の防火構造と何が違うのですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・通常、延焼範囲を1階3m、2階5mとしていますが、今回、その範囲に入らない部分についても延焼の恐れがあるとして、外壁と軒裏の全てを防火構造にしています。
関澤副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金はどれくらいですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・定額補助となり30万円です。
中出委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・3ページにある図、準防火仕様+αに該当するのですね。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・準防火仕様+αの+α部分が市独自の仕様となります。
中出委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・③防災機能を高める市道の拡幅について、数字としては5月までに約9割が完了とありますが、ネットワークとして寸断されているようなところはありませんか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・県道である駅前通りと接続する部分について、地権者と合意できておらず、現在地権者と交渉中です。また、国道8号に並行する市道の一部についても現在交渉中です。
中出委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・県道である駅前通りと接続する部分以外は、避難路、消防が入れるとしてネットワークができているということによろしいか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・順調に整備されています。
中出委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ほか、ございませんでしょうか。 <p>大火を防ぐまちづくりプロジェクトについては順調に進められていると評価します。</p> <p>次に、(ウ) 糸魚川らしいまちなみ再生プロジェクトについて、事務局説明をお願いします。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料2、5ページ、6ページをご覧ください。(ウ) 糸魚川らしいまちなみ再生プロジェクトについて説明します。 <p>プロジェクトでは景観に配慮した調和のとれたまちなみ再生に向けた取組みとして本町通りの雁木の再生や景観形成の取組みに対する支援、道路の美装化や無電柱化等の施策の実施、検討を進めています。</p>

	<p>〔実施概要 資料2（5ページ、6ページ）に基づき説明〕</p> <p>①雁木再生への支援 ②地場産材等を活用した復興モデル住宅の推奨、支援 ③雁木のあるまちなみと調和する住宅や店舗の建築促進、支援 ④道路や歩道的美装化 ⑤無電柱化の促進</p>
中出委員長	<p>・（ウ）糸魚川らしいまちなみ再生プロジェクトについて、ご意見やコメントなどがありましたらお願いいたします。</p>
岡崎委員	<p>・全体として順調に進められていると評価します。</p> <p>景観不燃化ガイドラインの見直しについては、引き続き検討ください。まちなみ再生に向けた機運の盛り上げについては、体制づくりが重要であり、時間もかかりますが継続した取り組みをお願いします。他の復興の事例を見て心配なのは、今の時代から住宅の駐車場の確保が課題であると思います。また、耐火構造は建築費用がかかるので、本町通り沿道 12mの範囲に建物を建てないということがおこり、空地になるのではないかと危惧します。</p>
事務局	<p>・景観不燃化ガイドラインを策定しましたが、新しく家を建てられる人のニーズを少しかみ切れていなかったと反省しています。再建が進んでいく中で、現在景観不燃化ガイドラインの見直しを進めています。</p>
中出委員長	<p>②地場産材等を活用した復興モデル住宅の推奨、支援について、今のところうまく進んでいなく、施策内容を再検討中とありますが、今現在、どのような検討をしていますか。</p>
事務局	<p>・市として、景観形成に取り組んでこなかったという実態があります。</p> <p>その中で、糸魚川の良いまちなみや景色について、再発見という形で市民の方に投げかける活動ができないか、検討を始めたところです。</p>
中出委員長	<p>・（オ）暮らしを支えるまちづくりプロジェクトにおける市営住宅については良いものが整備されるという中で、市営住宅のパーツ、ボキャブラリーが復興モデル住宅のある部分に使えないか。デザインコードまでとは言わないが、そうしたことも市民に発信することも必要だと思う。</p>
事務局	<p>・市で復興モデル住宅を建てるところまでは及ばなかったが、策定した景観不燃化ガイドラインにほぼ沿って再建していただけた方がいる。そうした方にご了解いただくなかで紹介していきたい。</p>
関澤副委員長	<p>・景観不燃化ガイドラインには、雁木通りを木質感のある通りにしたいとしていると思うが、そこに不燃化要素を組み込んだような内容になっていますか。</p>
事務局	<p>・糸魚川らしいまちなみとして本町通りの雁木を象徴と考えますが、幾度も大火を経験してきた地域であり、景観だけではなく、調和しつつも燃えない丈夫なまち、双方両立した再生を目指したいとしています。例えば、雁木の足が太くなくても燃えないことの方が大事だという視点でガイドラインを策定しました。景観と不燃化をバランスさせた取り組みを行うこととしています。</p>
中出委員長	<p>・景観不燃化ガイドラインについては市民に提示していますか。</p>
事務局	<p>・景観不燃化ガイドラインについては本町通り用のガイドライン、それ以外の重点地域用のガイドラインの2種類を策定し、市民に提示説明を行っています。</p>
関澤副委員長	<p>・雁木について木質感を活かしながら燃えないような工夫をしていると思うが、どのような構造としていますか。</p>

事務局	<p>・雁木についてモデル的にガイドラインに示したものは、雁木の柱には不燃ボードで覆うタイプ、もしくは、燃えしろ設計によるタイプの2種類を示しました。</p>
中出委員長	<p>・ほか、ございませんでしょうか。</p> <p>糸魚川らしいまちなみ再生プロジェクトについても順調に進められていると評価します。</p> <p>次に、(エ) にぎわいのあるまちづくりプロジェクトについて、事務局説明をお願いします。</p>
事務局	<p>・資料2、7ページ、8ページをご覧ください。(エ) にぎわいのあるまちづくりプロジェクトについて説明します。</p> <p>プロジェクトでは主体的にまちづくりを行う人材育成として復興まちづくり情報センターの活動、広場の活用を考えるチャレンジミーティング等により、参加者の中から主体的にまちづくりに関わろうとする意識が芽生えつつあります。今後も自主的に活動する体制づくりを支援する必要があります。</p> <p>【実施概要 資料2（7ページ、8ページ）に基づき説明】</p> <p>①防災とにぎわいの拠点施設の整備</p> <p>②にぎわい創出広場の整備</p> <p>③事業再建支援の拡充とU I ターン創業の促進</p> <p>④（仮称）まちづくりキャンパスによる人材育成</p> <p>⑤日本海と海の幸を生かした誘客強化</p> <p>⑥海望施設の検討</p>
中出委員長	<p>・にぎわいのあるまちづくりプロジェクトについて、ご意見やコメントなどがありましたらお願いいたします。</p>
江口委員	<p>・にぎわいそのもののイメージ、にぎわいを創出する方向に関して人によって意見が違い、また、地域住民や商工関係者と連携で取組む必要があり時間がかかる分野ですが、内部評価を拝見すると、初年度としては順調に取組まれていると評価します。今後は官民連携の機会が増え、アイデア出しの段階からプレイヤーの発掘、育成の段階に進むものと思います。</p> <p>①防災とにぎわいの拠点施設の整備について、サウンディング調査をされているとのことですが、今のところの進捗、概要についてお聞かせください。</p>
事務局	<p>・国交省、P F I 協会主催によるサウンディングと市独自のサウンディングを行っています。拠点整備に係る敷地規模について流動的な部分もあることから、具体的な提案が出てこない状況にあります。商業を中心としたにぎわいの拠点に民間事業者が独自参入するというのは難しいとの意見をいただいておりますが、例えば市が土地を用意した中であれば可能性があるとの話も聞いています。また、条件によってはコンビニなどが、テナントで参入したいとの希望も聞いています。</p>
江口委員	<p>・拠点ということになれば、財政面の問題、将来の維持管理の負担もある。一方、にぎわいにはスピード感も必要です。バランスを取りながら進めてほしい。今回、コンセプトとして掲げられている若者と子育て世代の意見をくみ取りながら検討して下さい。</p> <p>②にぎわい創出広場の整備について、規模は違うが南池袋公園のカフェのような、民間事業者と連携し公園や河川を活用したにぎわいづくりがいろんな自治体で取組まれ始めています。単なる公園で終わらないよう、若者と子育て世代が居心地よく集まれるような場として整備を進めてほしい。</p>

	<p>③事業再建支援の拡充とU I ターン創業の促進における創業関連と②にぎわい創出広場は連携して進めると良いです。創業セミナーを行うのであれば、カリキュラムの一つとしてマルシェに出店するなど、連携させるのが効果的です。できれば、創業セミナーからマルシェに出店し、その後にぎわい創出広場近辺に新規創業者が一人でも生まれると良いです。マルシェについては事例として美容院の経営者でアクセサリーを趣味とし、その販売のテストマーケティングとしてマルシェを活用している例があります。</p>
<p>中出委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・①防災とにぎわいの拠点施設の整備について、運営体制の調査を早く進めてほしい。P F I のやり方もいろいろあり、土地と建物、運営、イニシャルコスト、ランニングコスト等、早く枠組みを決めていただきたいと思います。意見交換の継続から一歩進めて基本構想、基本計画まで進められるようお願いいたします。
<p>木村副市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・①防災とにぎわいの拠点施設の整備については、被災者をはじめ市民の皆様や関係団体の声を聞きながら、本年6月までに方向性を決めることとしております。 ・②のにぎわい創出広場の整備については、パーク P F I などのような官民連携による整備・運営も含め検討を進めてまいります。
<p>中出委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の評価としては問題ないとしします。 次に、(オ)暮らしを支えるまちづくりプロジェクトについて、事務局説明をお願いします。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料2、9ページ、10ページをご覧ください。(オ)暮らしを支えるまちづくりプロジェクトについて説明します。 プロジェクトでは、生活支援相談員や保健師の定期的な戸別訪問により、不慣れた避難生活における心と体のケアに努めるとともに、昨年10月には復興まちづくり情報センターを開設し、気軽に相談できたものと考えています。復興市営住宅の建設を進めていますが、被災地周辺を含む居住人口の確保と地域コミュニティを維持していく必要があると考えています。 【実施概要 資料2(9ページ、10ページ)に基づき説明】 ①医療、福祉や子育てサービスと連携した市営住宅の整備 ②被災地域へのU I ターンの促進 ③誰もが気軽に集える場づくり ④日常生活の支援を行う相談員の配置 ⑤生活再建のための金融等の支援(生活資金と再建資金)
<p>中出委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・(オ)暮らしを支えるまちづくりプロジェクトについて、ご意見やコメントなどがありましたらお願いいたします。
<p>中出委員長 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・復興まちづくり情報センターに来られる方々はどのような方で、どのようなことを知りたくて来るのですか。 ・復興まちづくり情報センターは、駅前通り沿いにあるいとよ広場の横の空き店舗を活用しています。2月末で約1,200人の利用があります。被災された方は再建途上ということもあり多くは利用されていません。主に利用される方は視察で訪れる方になります。また、地域づくりでイベントや事業をやられる方が相談に訪れたり、チラシやポスターの掲示場所としても利用されています。その他、行政関係者の打ち合わせ等に利用しています。開設当初はマスコミ関係者も多く利用されました。

中出委員長	<p>・外からの視察やマスコミ等は一過性のものになりがちです。復興だけに限らず、糸魚川のまちなかの情報交換の場に使えるように進めてほしい。④日常生活の支援を行う相談員の配置にある、社会福祉協議会や保健師さんの動きとも連動させることも可能だと思います。長岡市では、こうした場所に血圧計や簡単な健康診断ができるような設備があります。保健師さんが戸別訪問するのと併せ取組んでほしい。</p> <p>③誰もが気軽に集える場づくりと④日常生活の支援を行う相談員の配置は連動できると思います。</p>
事務局	<p>・生活支援相談員については、まちづくり情報センターが開設されたことで基本的にセンターを拠点に活動しており、復興集落支援員と併せ4人体制としています。</p>
中出委員長 事務局	<p>・市営住宅は、非常に宣伝効果があると考えますが、いつ頃に入居が可能ですか。</p> <p>・6月頃から建設に入り、来春4月頃を目途に入居可能となるよう工事を進めて行きます。</p>
中出委員長 事務局	<p>・18戸については入居が予定されているとのことですが、入居者の使用に併せたような造りになっていますか。</p> <p>・1LDK、2DK、3DKのタイプがあり、先日も、入居予定者との意見交換会を開催し、どのタイプの間取りが良いか希望を確認しました。早めに希望の部屋を決定するために、間取りを確認してもらい安心していただいたと思います。</p>
中出委員長	<p>・暮らしを支えるまちづくりプロジェクトについても内部評価に特に異論はなく順調に進んでいるものと評価します。</p> <p>最後、(カ) 大火の記憶を次世代につなぐプロジェクトについて、事務局説明をお願いします。</p>
事務局	<p>・資料2、11ページ、12ページをご覧ください。(カ) 大火の記憶を次世代につなぐプロジェクトについて説明します。</p> <p>プロジェクトでは、大火の記憶を風化させることなく、次世代に経験として引継ぎ、防災意識の継続させることを目的としています。また、今回の被災に際し全国から多くの支援をいただいております、本市だけではなく、全国にも防災についての情報発信を行うこととしています。</p> <p>〔実施概要 資料2（11ページ、12ページ）に基づき説明〕</p> <p>①防災とにぎわいの拠点施設の整備（再掲）</p> <p>②こども消防隊の設置</p> <p>③ホームページ等による復興情報の発信</p> <p>④復興まちづくり版マンホール蓋への更新</p> <p>⑤防火と大火の記憶を受け継ぐ植樹の促進（再掲）</p>
中出委員長	<p>・(カ) 大火の記憶を次世代につなぐプロジェクトについて、ご意見やコメントなどがありましたらお願いいたします。</p>
関澤副委員長	<p>・①防災とにぎわいの拠点施設の整備について、どのようなコンセプト、施設を考えていますか。昨年、復興まちづくり計画検討委員会の中での議論では、過去の辛い体験を思い出す内容には、少し抵抗感があるとの話もありました。とはいってもにぎわいだけでは本来の考え方から外れます。現時点ではどのような方向で考えていますか。</p>

木村副市長	<ul style="list-style-type: none"> ・防災とにぎわいの拠点施設の規模にもよりますが、例えば防災グッズを体験できるコーナーの設置など防災意識の向上に寄与できる機能も検討してまいります。
中出委員長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・④復興まちづくり版マンホール蓋への更新について、更新区域については商業地域の範囲内くらいのイメージですか。 ・重点区域をメインに更新を行います。車道、歩道があり、数は40個ほどになります。デザインは一種類であり、モノクロとカラーの2タイプとなります。
中出委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・全国にはマンホールカードを集めている人が沢山います。全国から多くの人が集まってくると思います。
中出委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の方の中には、あまり苦しいことを思い出したくないということあるかも知れませんが、今、大火を経験した我々の世代が将来に向けてメッセージとして残すことは大事だと思います。 ②こども消防隊の設置についても続けることで、この子達が大人になった時に防災の意識が高まると思うし、自主防災組織のコアとなってもらえることが期待できます。 大火の記憶を次世代につなぐプロジェクトについても内部評価に特に異論はなく順調に進んでいるものと評価します。
中出委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトについては平成30年度以降が多く、平成29年度の内部評価としてはこれで進めて行けば良いと思います。事務局におかれては、委員からいろんな意見をいただきましたので、その意見を踏まえて今後プロジェクトを進めていただきたいと思います。
5 議事(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・続きまして、議事の(2)復興まちづくり計画 変更案について、事務局説明願います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料3復興まちづくり計画の変更案をご覧ください。表紙をめくり、裏面をご覧ください。今回の変更のポイントは大きくは2つございます。1つ目は、評価にともない事業スケジュールを現在の進捗状況に合わせた形に変更したいものです。2つ目は、にぎわいづくりのコンセプトを「若者・子育て世代が集いたくなるヒトづくり・まちづくりのたまり場」に具体化したことにともない、商業優先やハコモノありきのスタートではなく、人が集う場づくりのための人づくりが先であるというコンセプトの考え方に従い、計画の文面を変更したいものでございます。 次に、目次をご覧ください。今回の変更案につきましては、変更があった章を抜粋して掲載しております。変更箇所につきまして、1ページから3ページにかけ、変更項目、変更内容、理由を一覧にして記載しております。 変更内容は、4ページ目から変更前と変更後がわかるように、対比できる形で変更箇所を赤字表記して掲載しております 5ページまでめくっていただいて、ここから、主な変更内容について説明いたします。6ページでは、3つの方針のうち、にぎわいのあるまちづくりについて、人材育成の推進を追加して位置づけております。 ページをめくって7ページと8ページは、まちの将来イメージについて、広場や住宅の位置が具体になったことに伴い変更しているものです。 ページをめくって10ページ目からは、主に計画スケジュールの変更となっております。

	<p>ページを飛んで、18 ページ、19 ページをご覧ください。ページ上にございます、目的のところのございます、19 ページの変更後では、まずは若者や子育て世代をはじめとする市民や地域住民が集いたくなるまちづくりを推進することで、来訪者や新たな事業者の参入を促すということに変更しております。また、下の方にありますスケジュール表の、④人材の育成のところを自立的に活動するまちづくり団体の組織化という目標に具体化した内容で変更しております。</p> <p>以降のページにつきましては、事業スケジュールの修正や字句の整理といった内容が中心のございますので、説明は割愛させていただきます。説明は以上です。</p>
中出委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・復興まちづくり計画変更案について、ご意見やコメントなどがありましたらお願いいたします。
関澤副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ P14、P15、4-2 大火を防ぐまちづくりプロジェクトの④について消火設備を備えた防災公園の整備を、防災機能を備えた広場の整備に施策名を変更した意味はどのようなものですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災公園には消火設備を備えると位置付けており、にぎわい創出広場に 200 t クラスの防火水槽を設置します。広場についてはその他に 7 か所あり、それぞれ災害時における一時避難所としての整備をしていきます。「消火設備を備えた」のままだと、すべての広場に消火設備が備わっているような位置付けとなることから、広く防災機能を有する広場ということの意味合いとなるよう、施策名を改めました。
関澤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ にぎわい創出広場に消火設備を設置することは変更なく、その他の広場を含めて防災機能を備えた広場を整備するということですね。
中出委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園とすると都市公園法に縛られ、少しのことで出来なくなるおそれもあります。広場ということであれば融通が利くことにもなります。
中出委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画スケジュールについては、変更前よりは、より具体的になっていると思います。復興まちづくり計画変更案については、特によろしいでしょうか。 <p>(「異議なし」の声)</p>
中出委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ ありがとうございます。本日のご意見につきましては、事務局で整理いただき、内容の確認などは、委員長にご一任いただきますよう、よろしく申し上げます。
5 議事 (3)	
中出委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ (3) その他について、各委員から何かございますでしょうか。
中出委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復興まちづくり計画についてはこれで問題ないと思いますが、計画を実行するには、計画を制度の中に位置付けていくことが必要です。地区計画や商業地域の中でも工場ができるようにする特別用途地区とかをなるべく早く進めていただきたいと思います。土地利用側からのサポートも必要だと思う。 <p>さらには、景観協定、まちづくり協定や緑化協定などで、法に縛られるものや縛られないものもあります。協定作成時は、行政の手伝いがあっても、基本的には住民から“こんな街にしたい”と発意し、議論していくプロセスが大事です。一朝一夕では出来ないものではありませんが、なるべく早くはじめていただきたい。上物が全て建ってからでは難しく、建てている最中に出来上がりをイメージし、良いものとして残していこうかとの考え方が必要です。</p> <p>中期的、長期的に考えるものについても視野に入れ、次の世代に引き継げるもの</p>

<p>中出委員長</p> <p>6 その他 司会</p>	<p>にしてほしい。</p> <p>ほかによろしいでしょうか。事務局から何かありますでしょうか。</p> <p>(「ありません」の声)</p> <p>・議事は、これで終了とさせていただきます。議事の進行にご協力賜り、誠にありがとうございました。</p> <p>・委員の皆さま、誠にありがとうございました。次第の「6. その他」について、今後のスケジュールを皆さまにお知らせします。</p> <p>参考資料4 復興まちづくり計画の評価サイクルをご覧ください。本日の評価の議論などを踏まえまして、計画変更案をとりまとめます。被災された方には先週の説明会において概要を説明しています。市議会には明日、説明会の状況と併せ本日の評価委員会について報告させていただきます。</p> <p>その後、4月下旬から5月上旬にかけてパブリックコメントを実施します。変更した計画の公表は、5月下旬を予定しております。今後の評価については年度毎に同じサイクルで評価を行います。</p> <p>なお、本日の議事につきましては、事務局でとりまとめ、公開することとしておりますので、委員の皆さまから、後日、議事の確認についてご協力をお願いいたします。その他、委員の皆さまからご意見等ございますでしょうか。</p> <p>(「ありません」の声)</p> <p>無いようでございますので、平成29年度復興まちづくり計画評価委員会を終了させていただきます。本日は大変ありがとうございました。</p> <p>14:50 終了</p>
----------------------------------	---